

## Ⅱ 第2次吹田市地域福祉計画の主な進捗状況

### 1 重点課題について

#### (1) 地域福祉活動及び保健・福祉サービス等に関する情報発信の充実・支援

##### 取組状況と課題

地域福祉に関する情報を身近に感じていただくため、市のホームページに地域福祉計画のwebページをつくり、吹田の地域福祉の取組みを紹介しております。紹介内容の一例として、吹田市社会福祉協議会や各地区福祉委員会の活動内容が掲載されているwebページもリンクさせています。

今後は小学校区単位で公民の地域福祉に関する情報を整理することが課題となっています。

市ホームページ      吹田の地域福祉の取組みの記事      平成26年(2014年)3月31日現在

##### 吹田の地域福祉の取組み

吹田市では地区福祉委員会活動、民生委員児童委員活動、自治会活動、ボランティア活動、NPO活動、社会福祉協議会施設連絡会活動など、さまざまな地域福祉活動が行われています。

- ▶ [地区福祉委員会活動](#)
- ▶ [民生・児童委員協議会活動](#)
- ▶ [自治会活動](#)
- ▶ [NPO、ボランティア活動](#)
- ▶ [社会福祉協議会施設連絡会活動](#)



## (2) 地域福祉活動の担い手づくりのための学習会・懇談会開催の支援

### 取組状況と課題

市の出前講座を活用した地域福祉活動の担い手づくりのための学習会・懇談会の開催について申込み方法の整理やメニューの周知を行いました。地区福祉委員会を対象に平成 24 年(2012 年)9 月にご案内をしましたが、開催の要望はありませんでした。しかしながら、平成 24 年度(2012 年度)に実施された吹田市社会福祉協議会と地区福祉委員会の懇談会や、例年実施している地域福祉市民フォーラムの中で、依然として「活動の担い手不足が課題」といった意見が多数挙がっています。今後は、どのような方法が課題解決に効果的であるのか研究を進めていきます。なお、機会をとらえて吹田市報やホームページを活用した活動の担い手募集を随時行っています。

## 市ホームページ 担い手募集の記事

平成 26 年(2014 年)3 月 31 日現在

### 地域福祉活動(ボランティア)へのお誘い

#### 地域で行われている様々な地域福祉活動

##### ふれあい昼食会

おひとり暮らしの高齢者(おおむね65歳以上の方が対象です。)の皆さんをお招きし、地域の福祉委員さん、ボランティアさんと共に和やかな雰囲気の中、会食します。

##### いきいきサロン

高齢者の方を対象に地域の公民館や集会所などで茶話会や体操、レクリエーションなどを行います。

##### 子育てサロン

地域の公民館や集会所などで手遊びや読み聞かせなどを行い、お父さんお母さん同士の仲間づくりや情報交換の場となっています。



#### 地域福祉活動(ボランティア)へのお誘い

地域福祉活動は公民館や集会所、市民ホールなど、皆さんのお住まいの身近な地域で行われています。主に活動をしている方は地区福祉委員さん、民生委員児童委員さん、ボランティアさんなどです。

これらの活動についてお手伝いいただけますボランティアさんを随時募集しております。地域の福祉活動は同じ町に住む住民同士の助け合い、支え合い、絆から成り立っています。

皆さんの可能な範囲で、地域の福祉活動に関わっていただけますと大変ありがたく思います。関心を持たれました方は市役所福祉総務課まで御連絡をお願いします。

### (3) 「まちの縁側」づくり（交流と問題・課題発見の場）の支援

#### 取組状況と課題

人と人がつながり、ほっと一息できる「まちの縁側」を周知するため、地域福祉推進モデル地区の一つである佐竹台地区のまちの縁側マップを作成しました。作成にあたっては「さたけん家」に関わりがある大学院生の協力もいただきました。

現在、本市においては市民が気軽に立ち寄れるほど「まちの縁側」が十分整備された状態ではありません。そこで地域における「まちの縁側」づくりへの関心を高めるため、市内にある「まちの縁側」を取材し、その成り立ちや運営主体、運営方法などをまとめた「まちの縁側」啓発冊子を作成しました。

### (4) 要援護者の災害時における地域での支援体制の充実

#### 取組状況と課題

災害時要援護者支援についての考え方や進め方、市と地域の役割などについてまとめた「災害時要援護者避難支援プラン（全体計画）」を平成 24 年（2012 年）5 月に策定しました。同プランは、市ホームページに掲載するなどして周知を図っています。また、災害時に支援を希望する要援護者の名簿を作成し、地域の支援組織と要援護者情報の共有を図る災害時要援護者登録制度を平成 21 年（2009 年）10 月から実施しており、平成 26 年（2014 年）2 月 14 日現在、1,475 人の方が登録しています。さらに災害時に一般の避難所の生活では何らかの特別な配慮を必要とする人を対象に開設する、福祉避難所の指定を行っています。

課題としては、地域における要援護者への支援が円滑かつ適切に行われるよう、地域の支援者による要援護者一人ひとりについての個別支援計画の作成などの支援体制の整備が急務となっています。また、福祉避難所の指定についてもいまだ十分ではないため、さらなる取組みが必要です。

施設名	住所	指定日
総合福祉会館	出口町 19-2	平成 25 年 3 月 1 日
障害者支援交流センター (あいほうぶ吹田)	千里万博公園 12-27	
内本町地域保健福祉センター ※デイも含む	内本町 2-2-12	平成 25 年 10 月 22 日
亥の子谷地域保健福祉センター※デイも含む	山田西 1-26-20	
介護老人保健施設	片山町 2-13-25	平成 25 年 12 月 6 日
南山田デイサービスセンター	尺谷 27-1	平成 25 年 12 月 9 日
藤白台デイサービスセンター	藤白台 2-9-1-115	
千里山西デイサービスセンター	千里山西 2-13-2	平成 26 年 2 月 19 日

(5) 制度の谷間にある問題点について解決策を検討する「地域福祉問題調整会議」の立ち上げ

**取組状況と課題**

地域における福祉課題について既存の制度では対応が難しい、制度の谷間にある問題の解決策を検討する地域福祉問題調整会議を、平成 24 年度 (2012 年度) に設置しました。会議を重ねることで課題解決の検討を行い、併せて各関係機関の情報共有を図っています。

地域福祉問題調整会議の検討案件は個別の検討で終わることもありますが、他の地域において同じような課題を抱えている方がいる場合も考えられます。地域、各関係機関、行政等のそれぞれの立場において、新たなアプローチや施策等を構築することが求められています。

**地域福祉問題調整会議 (定例会) の開催状況**

	開催日	検討案件	事例提供先
第 1 回	平成 24 年 6 月 15 日	委員紹介、座長の選出等	
第 2 回	平成 24 年 8 月 9 日	①介護保険制度の周知について ②複雑化した家族問題からの生活困窮事例について	①社会福祉協議会 ②内本町地域保健福祉センター
第 3 回	平成 24 年 11 月 15 日	近隣トラブルを訴える女性への対応、支援について	社会福祉協議会
第 4 回	平成 25 年 1 月 17 日	認知症高齢者の支援から福祉講座の開催グループの立ち上げについて	社会福祉協議会
第 5 回	平成 25 年 9 月 3 日	福祉に接点のない市民への意識啓発について	福祉総務課及び 社会福祉協議会
第 6 回	平成 26 年 2 月 19 日		福祉総務課及び 社会福祉協議会

**地域福祉問題調整会議（随時会）の開催状況**

開催日		検討案件
第1回	平成25年10月24日	福祉に接点のない市民への意識啓発について
第2回	平成25年11月28日	
第3回	平成26年1月23日	

**地域福祉問題調整会議（定例会）の構成員**

平成25年（2013年）4月1日現在

市関係部局	こども部	子育て支援室（家庭児童相談）
		子育て支援室（地域子育て支援関係機関連絡会）
	福祉保健部	福祉総務課
		生活福祉課
		総合福祉会館
		内本町地域保健福祉センター
		亥の子谷地域保健福祉センター
		千里ニュータウン地域保健福祉センター
		高齢支援課
		障がい福祉室
		関係団体

※なお、随時会の構成員は課題別とその都度定めます。

## 2 具体的施策について（主な取組み状況）

### （1） 地域福祉活動推進の条件整備

#### 取組状況と課題

#### ① 地域支えあいネットワーク推進事業について

本事業では、地域に出向き、様々な相談・支援を行うとともに、地区福祉委員会等の活動をサポートするコミュニティソーシャルワーカー（以下、CSWと記載します。）を配置しています。CSWは地域課題を解決するため、地域包括支援センターを始めとした各関係機関と連携しています。また、地域の支えあいネットワークの構築を円滑に行うために地域ケア会議などの様々なケアマネジメント会議にも参画しています。その他、ボランティア活動の推進を図るため、ボランティアコーディネーターを1名配置しています。さらに、判断能力が不十分な方でも住み慣れた地域で安心して生活を送るために金銭管理等のサポートを行う、日常生活自立支援専門員も1名配置しています。いずれも吹田市社会福祉協議会に委託しています。

CSW活動の課題としては、各専門機関との緊密で継続的なネットワークの構築や、解決困難なケースを抱えることが挙げられます。また、日常生活自立支援事業においては利用希望者の増加等から発生している待機者の解消が課題に挙げられます。

#### CSWの配置状況

年 度	配置人数等	相談件数
平成 23 年度	13 名 各ブロック 2 名、統括者 1 名	606
平成 24 年度		782
平成 25 年度		849

該当施策（小項目）	主な担当室課
1) コミュニティソーシャルワーカーの配置及び機能強化	福祉総務課 社会福祉協議会
2) ボランティアコーディネーターの配置及び機能強化	福祉総務課 社会福祉協議会

## ② 地域福祉活動の財政支援策について

地域福祉活動の促進を図るため関係団体等へ財政的支援を行っています。課題としては、市税収入の減少などにより本市の財政状況が厳しく、新たな財政的支援の提案が難しい状況となっています。

### 地域福祉活動への主な財政支援一覧

補助金等名	内 容	担当室課
市民公益活動促進補助金	市民の公益活動のさらなる活性化と市民主体の活力ある地域社会の実現を図ることを目的に、市民公益活動事業に必要な経費の一部を補助しています。	地域自治推進室
子育て広場助成事業	子育てへの負担感を緩和するため、親子が気軽に集まって交流し、子育ての喜びや楽しみを共有することができる「子育て広場」を運営する団体に対して補助しています。	子育て支援室
社会福祉活動補助金	社会福祉活動を行う吹田市社会福祉協議会等の団体に対し、その活動に要する経費について補助しています。	福祉総務課 障がい福祉室
民生委員児童委員活動補助金	民生委員児童委員活動に補助しています。対象となる事業は、委員活動、児童健全育成に係る啓発活動、自己研鑽活動、組織連携強化活動になります。	福祉総務課
ふれあい交流サロン事業	高齢者と世代の異なる市民が、気軽に利用できるサロンを設け、世代間交流の促進を図るために運営団体への助成をしています。	高齢政策課

該当施策（小項目）	主な担当室課
8) 地域福祉活動の財政的支援策の充実	地域自治推進室 子育て支援室 福祉総務課 障がい福祉室 高齢政策課

## (2) 公民協働による地域福祉活動の充実

### 取組状況と課題

#### ① 子ども見守り家庭訪問事業

子どもたちの健やかな成長を見守ることを目的に、民生委員児童委員及び主任児童委員の協力により市内の生後4か月までの乳児のいる全家庭を訪問する事業を実施しています。『子ども・子育てサポートブック』の配布や4か月児健診、地区福祉委員会が実施する子育てサロンなどの情報を伝えています。

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
子ども見守り家庭訪問事業 在宅世帯数	2,080	2,172	2,243

該当施策（小項目）	主な担当室課
16) 民生委員・児童委員活動への支援	子育て支援室

#### ② 地域福祉市民フォーラムの開催

地域福祉の取組みについて幅広く市民に知ってもらうため、例年、市と吹田市社会福祉協議会との共催で地域福祉市民フォーラムを実施しています。全市的に開催していますが、細かい圏域（エリア）での開催を望む声もいただいています。

年 度	開催日	テーマ	実施形態	参加人数
平成23年度	7月24日 (日)	すいた発 地域の担い手づくり	基調報告、基調講演 シンポジウム	108
平成24年度	2月17日 (日)	孤立を見逃さない街、 すいたを目指して	基調報告、基調講演 シンポジウム	121
平成25年度	11月17日 (日)	災害に強い地域づくり 孤立をさせないコミュニティ づくり みんなで支えるのびのび子育て	基調報告 ワークショップ	76

該当施策（小項目）	主な担当室課
26) 人権意識・福祉意識の向上	福祉総務課

### (3) サービスを利用しやすい仕組みづくりと総合的支援のネットワーク

#### 取組状況と課題

##### ① 地域包括支援センターの拡充

高齢者の介護、健康、福祉、医療を始めとした相談体制の充実を図るため、平成24年(2012年)10月1日から新たに7か所増設し、合計13か所となりました。地域包括支援センターでは保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャー等が中心となって高齢者の皆さんの総合的な支援を行っています。

#### 地域包括支援センター一覧

施設名	連絡先	所管区域
高齢支援課(南吹田地域包括支援センター)	泉町1-3-40 TEL 06-6384-1360 FAX 06-6368-7348	泉町、西の庄町、穂波町 金田町、南金田、南吹田
吹田市豊津・江坂地域包括支援センター	江坂町4-20-1 エバーグリーン内 TEL 06-6310-9705 FAX 06-6368-6005	江坂町1~4丁目、江の木町 垂水町、豊津町、広芝町、芳野町
総合福祉会館(片山地域包括支援センター)	出口町19-2 TEL 06-6339-1207 FAX 06-6339-1202	朝日が丘町、片山町、上山手町 出口町、天道町、原町2丁目 藤が丘町、山手町
総合福祉会館(千里山東・佐井寺地域包括支援センター)	TEL 06-6339-1207 FAX 06-6339-1202	佐井寺、佐井寺南が丘、千里山霧が丘、千里山高塚、千里山月が丘 千里山虹が丘、千里山東、千里山星が丘、千里山松が丘、竹谷町
吹田市岸部地域包括支援センター	岸部北1-24-2 ウェルハウス協和内 TEL 06-6310-8626 FAX 06-6310-8627	岸部北、岸部中、岸部南、芝田町 原町1、3、4丁目
吹田市千里山西地域包括支援センター	千里山西1-41-15 コート千里山Ⅲ TEL 06-6310-8060 FAX 06-6310-8561	江坂町5丁目、春日、千里山竹園 千里山西、円山町
内本町地域保健福祉センター(吹一・吹六地域包括支援センター)	内本町2-2-12 内本町コミュニティセンター内 TEL 06-6317-5461 FAX 06-6317-5469	朝日町、内本町、川岸町、寿町 清和園町、中の島町、西御旅町 東御旅町、南清和園町、元町

## 地域包括支援センター一覧

施設名	連絡先	所管区域
吹田市吹三・東地域包括支援センター	幸町 22-5 ハピネスさんあい内 TEL 06-4860-8338 FAX 06-4860-8233	川園町、幸町、昭和町、吹東町 末広町、高城町、高浜町 日の出町、平松町、南正雀 南高浜町、目俵町
亥の子谷地域保健福祉センター（山田地域包括支援センター）	山田西 1-26-20 亥の子谷コミュニティセンター内 TEL 06-4864-8551 FAX 06-4864-8550	五月が丘、山田北、山田西 山田東、山田南
吹田市千里丘地域包括支援センター	長野東 12-32 ケア 21 千里丘内 TEL 06-6876-5021 FAX 06-6875-5621	青葉丘、樫切山、清水、尺谷 新芦屋、千里丘、長野、山田市場
千里ニュータウン地域保健福祉センター（南千里地域包括支援センター）	津雲台 1-2-1 千里ニュータウンプラザ5階 TEL 06-6873-8870 FAX 06-6873-8871	佐竹台、高野台、竹見台 津雲台1丁目、桃山台
吹田市古江台・青山台地域包括支援センター	古江台 3-9-3 シャロン千里内 TEL 06-6872-0507 FAX 06-6872-0503	青山台、古江台
吹田市津雲台・藤白台地域包括支援センター	津雲台 4-7-2 介護老人保健施設つくも内 TEL 06-7654-5350 FAX 06-7654-5267	上山田、千里万博公園 津雲台2～7丁目 藤白台、山田丘

該当施策（小項目）

主な担当室課

28) 保健・福祉の相談・支援体制の充実

高齢支援課等

## ② 高齢者・介護家族電話相談事業（高齢者サポートダイヤル）

高齢者やその介護家族からの、介護、健康、医療等に関する相談を受ける電話相談事業を平成24年度（2012年度）から実施しています。保健師、看護師、介護支援専門員等の資格を持つ専門の相談員が24時間体制で相談に応じています。市民の皆さんへ積極的に周知することが課題となっています。（フリーダイヤル 0120-256594）

	平成24年度	平成25年度
相談件数	128	420

該当施策（小項目）	主な担当室課
28) 保健・福祉の相談・支援体制の充実	高齢支援課等

## ③ 地域ケア会議の開催

保健・医療・福祉サービスの総合調整や関係機関との連携を図り、要援護高齢者等を中心とした支援のネットワークの形成を推進しています。会議においては、認知症の方への支援、医療的ケアが必要な高齢者の支援、孤立しているひとり暮らし高齢者の問題等が検討されています。課題としては、解決困難な問題が多々あることや、個人情報保護の観点から各関係機関との連携が難しいことが挙げられます。

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
ブロック別ケア会議 定例会 開催数	30	30	30
随時会 開催数	3	1	5
調整会議 開催数	3	3	3
報告会 開催数	1	1	1

該当施策（小項目）	主な担当室課
32) 総合的なケアマネジメント体制の整備に向けて	高齢支援課

#### (4) 保健・医療、社会福祉制度の充実

##### 取組状況と課題

##### ① 青少年相談（ぷらっとる一む吹田）

平成 23 年（2011 年）4 月から臨床心理士などの専門資格を有した相談員が、ひきこもり、ニート、不登校など社会とのつながりが希薄になっている子ども、青少年及びその家族に対し、社会参画を支援しています。青少年の相談から、ボランティア活動につながったケースもありました。

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
相談回数	778	1,633	2,549
相談ケース（人数）	133	250 （当該年度新規は 181）	314 （当該年度新規は 191）

該当施策（小項目）	主な担当室課
37) 配慮を必要とする子どもや家庭への支援	青少年活動サポートプラザ

##### ② すいたストップDVステーション（DV相談室）の開設

平成 23 年（2011 年）4 月に配偶者暴力相談支援センターの機能を持つ「すいたストップDVステーション（DV相談室）」を開設し、総合的なDV防止対策事業を実施しています。同ステーションではDVを予防、発見、支援、フォローの4つのステージでとらえ、それぞれ効果的な施策を実施していこうとするもので、DV被害者の相談支援や、DVの予防啓発事業などを行っています。

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
相談件数	203	306	347

該当施策（小項目）	主な担当室課
43) 新しい課題を抱える人たちへの支援	すいたストップDVステーション （DV相談室）

##### ③ 子ども医療費助成制度について

次世代を担う児童の健全な育成や子育て世帯の福祉の増進を図るため、平成 25 年（2013 年）9 月 1 日から「乳幼児等医療費助成制度」を「子ども医療費助成制度」に改正しました。乳幼児等医療費助成制度は、小学校就学前の乳幼児の入院・通院及び小学校 6 年生までの入院医療費が助成対象でしたが、子ども医療費助成制度は、中学校修了前の子どもの入院・通院医療費（保険診療分）が助成の対象となります。※ただし、所得制限があります。

該当施策（小項目）	主な担当室課
45) サービス利用のための低所得者対策の充実	子育て支援室

## (5) 関連施策の充実

### 取組状況と課題

#### ① ひとり親家庭自立支援事業の実施

近年の厳しい経済状況の中、母子家庭の母は不安定な収入状況にある場合が多く見られます。そこで母子家庭の就業機会の拡大や自立の促進を図るため、ひとり親家庭自立支援事業を実施しています。なお、平成 25 年度（2013 年度）から父子家庭の父も対象になりました。

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金 給付件数	8	5	12
ひとり親家庭高等技能訓練促進費 給付件数	25	20	9

該当施策（小項目）	主な担当室課
46) 暮らしの基盤である雇用・就労の支援	子育て支援室

## (6) 地域福祉計画の推進に向けて

### 取組状況と課題

#### ① 職員研修の実施

平成 20 年度（2008 年度）から、地域福祉計画や地域福祉活動について職員への周知を図ることを目的として各地区福祉委員会等の御協力をいただき「地域の人と協働できる職員育成のための地域福祉活動体験実習」を実施しています。毎年 30 名程度の参加がありますが、各室課における業務の多忙から年々職員の参加が難しくなっています。また、管理職員の参加率の向上も課題となっています。

年 度	実施時期	参加した地域福祉活動	参加人数
平成 23 年度	10 月～平成 24 年 1 月 ※ 9 月 4 日に事前講義を実施	子育てサロン 11 地区 いきいきサロン 4 地区 陽だまりルーム 8 回	38
平成 24 年度	10 月～12 月 ※ 10 月 3 日に事前講義を実施	子育てサロン 8 地区 いきいきサロン 6 地区	30
平成 25 年度	9 月～12 月 ※ 9 月 6 日に事前講義を実施	子育てサロン 12 地区 いきいきサロン 10 地区	30

該当施策（小項目）	主な担当室課
59) 行政職員の意識向上と地域との連携	福祉総務課